



2025年6月10日 京都橘大学 地域作業療法学特別講義



地域で光る作業療法士の仕事

～保育園現場で働くという選択肢～

社会福祉法人 美樹和会
作業療法士・保育士 尾崎 将充

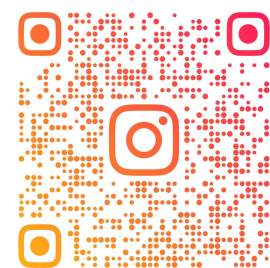
OT 求人



病院・クリニック・老健...

実は、保育現場にも作業療法士がいます

今日はそのお話をします



5月12日にシェアされた投稿
作成者:HOIKU_OT_MASA

<https://www.instagram.com/reel/DJjW9WSh7b5/?igsh=aHBwMGM5Y3U5c3lv>

作業療法士になるつもりはなかった

最初は医学・生命科学の道を目指していた。

出会いは医師である父の一言。

「作業療法って知ってる？」

「作業で人を元気にする」という言葉に惹かれた



期待していたはずの学びに違和感

“手工芸”と“こじつけの治療効果”にモヤモヤ

織物＝ROM拡大？ 革細工＝座位耐久向上？

「ほんとにそうか？」と思った1年生の冬

辞めようかとまで考えた2年生の冬

実習で人生が変わった

「この子らを世の光に」に心が動いた

びわこ学園での「発達」実習で

生まれながらの生きづらさを抱えながらも、
力強く生きる子どもたちの姿に心を打たれる

彼らにはもっと輝いて欲しいと思った



社会福祉の父
糸賀一雄氏

画像出典

: <https://www.youtube.com/watch?v=1bLHOpyNPgs&pp=0gcJCdgAo7VqN5tD>

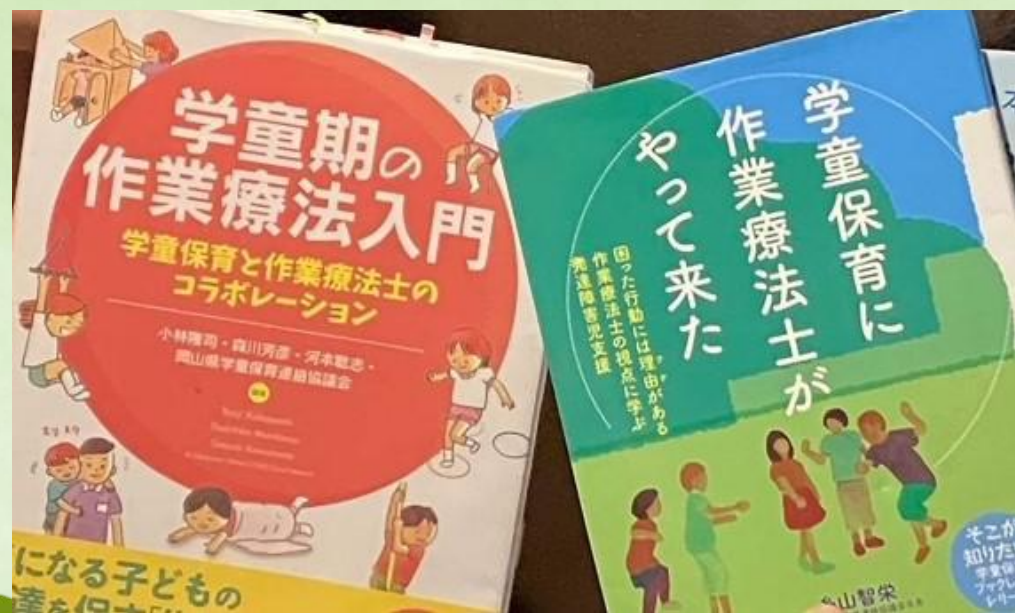
すぐに訪れたチャンス

大学近くの児童館でアルバイトをすることに

日常にある子どもの困りごとに気づき始め、
“作業”が日常にあることを体感した。

そして、

2冊の本との出会う



総合病院に入職し、感じた“違和感”

病院では「作業」が見えなかった

総合病院で脳血管・整形・小児・認知症などの臨床を経験

- でも、“日常の作業”がリハ室では見えなかった
- 「作業で人を元気に」はどこにある？と感じた

作業療法士として“もっと生活に寄り添いたい”



訪れた二度目の転機

学童 OT 募集



「新設 学童保育所 職員募集」でみぎわの求人ヒット！

ST・心理士と連携していることも判明

OTの自分を売り込んでみることに！



みぎわ保育園



みぎわ児童館



中京みぎわ保育ルーム



中京みぎわ園



清水みぎわ保育園



吉秀みぎわ保育園



朱雀みぎわ学童保育所

みぎわってどんなところ？

保育園・学童を軸に多様な保育ニーズに応える法人



①多職種連携（保育士・心理士・OT・ST・栄養士など）

②UD保育を法人全体で推進

→「どんな子も参加できる保育」を目指す法人

③分業でなく協業を重視

→ 専門性が「混ざる」ことを意識した多職種連携



←みぎわの公式HP

<https://www.migiwahoikuen.com/>

最初はうまくいかなかった

“専門性”が現場で浮いてしまう感覚

- 「OTの視点では…」→現場の反応は薄く、“伝わらない”
- 専門性が壁になった。協業のつもりが、分断を生んでしまった。
- OTを知ってもらう前に「保育現場の実情を知らなかった」と痛感
- 保育園・学童の現場に入りながら保育を学び、ニーズを探る日々
- 自身が保育士資格を取得

担任を経験して気づいたこと

現場に合った支援を、“形”にしないと届かない

- 保育士は常に手一杯
- 「それいいね」だけで終わる支援に意味はない
- 専門性は現場で活かされてナンボ



現場の声に「カタチ」で応える

食事の姿勢が崩れる1歳児の悩み

原因が何なのかを見極める

環境支援で変えられるとなれば

足台を作って“完成品”で届ける

“助かった”の声がやりがいに



提案だけで終わらない

設定保育の企画・準備・実施・片付けまですべてやる

現場の負担を限りなく減らす

保育に役立って初めて「いい支援」となる



おもちゃがないなら作ればいい

その子にあった“ちょうどいい”おもちゃを開発

クラスの遊びの段階に合わない子には

発達に合うおもちゃを自作で提供



環境支援にもOTの専門性

動の空間(プレイルーム)

静の空間(スヌーズレンルーム)



https://www.youtube.com/watch?v=eEQmDzMYI_xg&t=151s

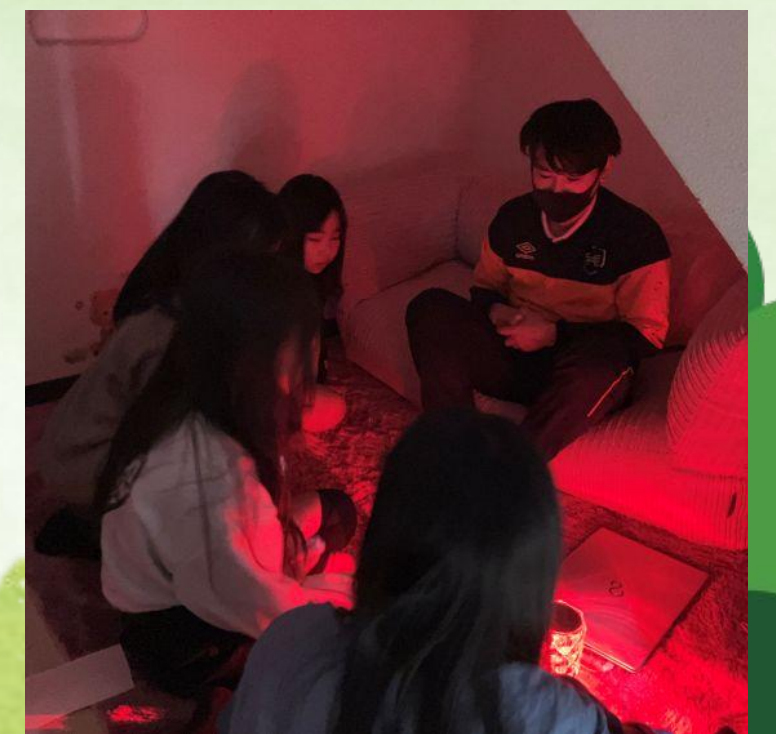
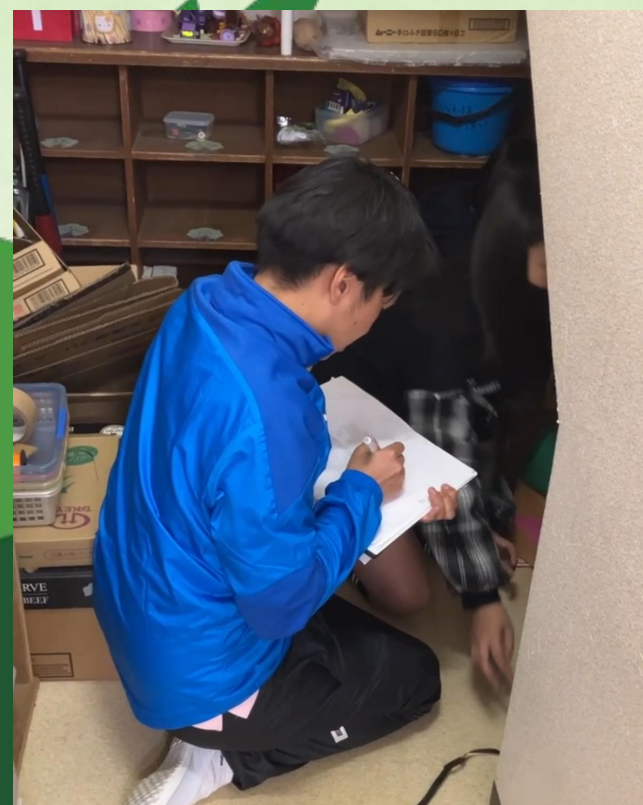


こども共和国プロジェクト

子どもたちの“やりたい！”を実現する支援

- 「こんな遊具があったらいいな」
- 「階段下を秘密基地にしたい！」

OTは子どもたちの声を実現するために伴走
補助金申請や稟議書作成もサポート！



自由遊び × 個別支援

- ・発達段階にあった遊びの提供
- ・身体が欲している感覚チャージ
- ・ルール理解、コミュニケーション能力の向上



日常でさりげなく支援できるのが保育園OT

設定保育×UD保育

“みんなが育つ”保育を、多職種でつくり上げる

UD(ユニバーサルデザイン)保育とは？

- ・特定の子のための個別支援ではなく「みんながやりやすい」仕掛けをつくる
- ・それは、困っていない子にとっても“わかりやすい・楽しい”につながる



なぜ今、UD保育が必要か？

クラスには、落ち着かない子・過敏な子・不器用な子など、多様な子どもがいる

個別対応では手が回らない → 環境や活動そのものを変える方が現実的



「課題のある子」ではなく、「課題のある環境」に着目する視点

https://www.youtube.com/watch?si=o4ENIUlvcOnYtx-W&t=224&v=jBoQ_sBbb8Y&feature=youtu.be



多職種での協業

みぎわでは、保育士・心理士・OTが分業でなく協業している

「このクラスに何が必要か？」を共有しながら、保育を作っていく

OTの視点が保育士の発想を広げ、心理士の評価がOTの調整に活かされる

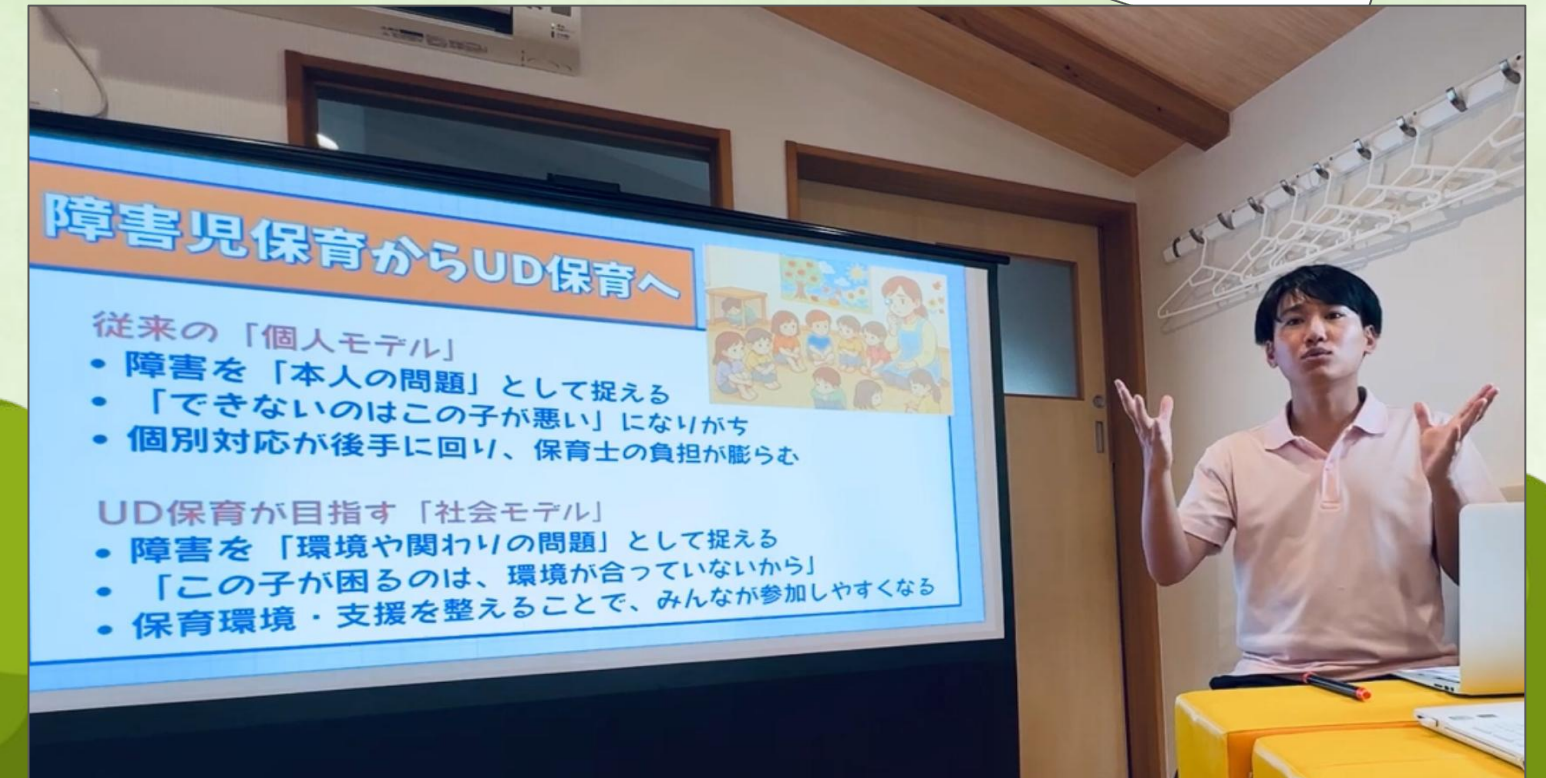
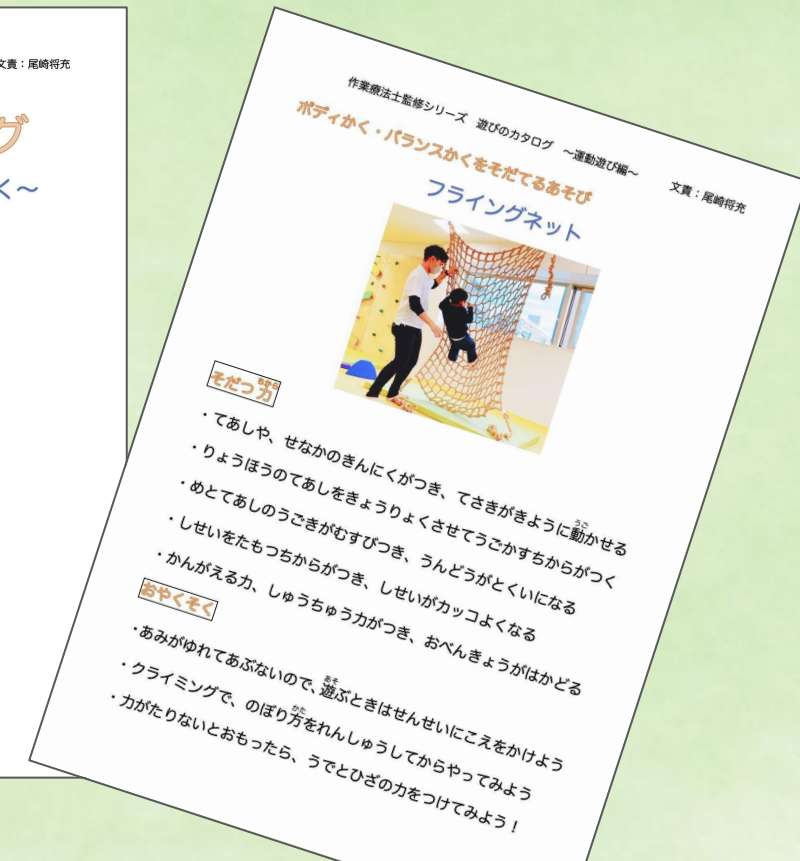
→ 専門性の“混ざり合い”が、UD保育の本質



多職種連携による保育の質向上



- ・年間カリキュラムのリニューアル
- ・乳児保育のマニュアル化
- ・遊びのカタログ化
- ・UD保育のファシリテーター
- ・職員研修の講師



障害児保育からUD保育へ

従来の「個人モデル」

- ・障害を「本人の問題」として捉える
- ・「できないのはこの子が悪い」になりがち
- ・個別対応が後手に回り、保育士の負担が膨らむ

UD保育が目指す「社会モデル」

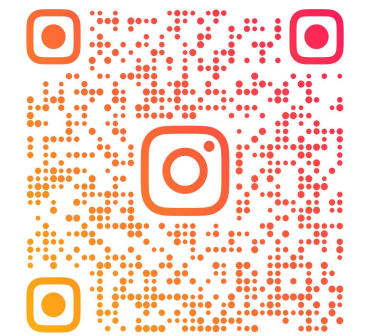
- ・障害を「環境や関わりの問題」として捉える
- ・「この子が困るのは、環境が合っていないから」
- ・保育環境・支援を整えることで、みんなが参加しやすくなる

地域子育て支援・マイ保育園

支援は保育園の中にとどまらない

地域の子育て家庭からの発達相談にも対応

OTによる発達を促す楽しい遊び講座の開催
(近隣児童館への出張講座も行う)



2月14日にシェアされた投稿
作成者: MlgwAkAl_1977

<https://www.instagram.com/reel/DGDH6mORuPt/?igsh=eHRubTRpMnlhZXJh>

他事業所へのOTコンサル

みぎわだけが良ければいい、のではない

職員の悩みに寄り添い、一緒に考える

遊びと環境を共に創り上げる「伴走型支援」



https://docs.google.com/document/d/17dBDwCZCaXQvu9VTv7HguLn6M0mDqvBGrcpreOM_Y2Y/edit?tab=t.0



外部発信・外部連携



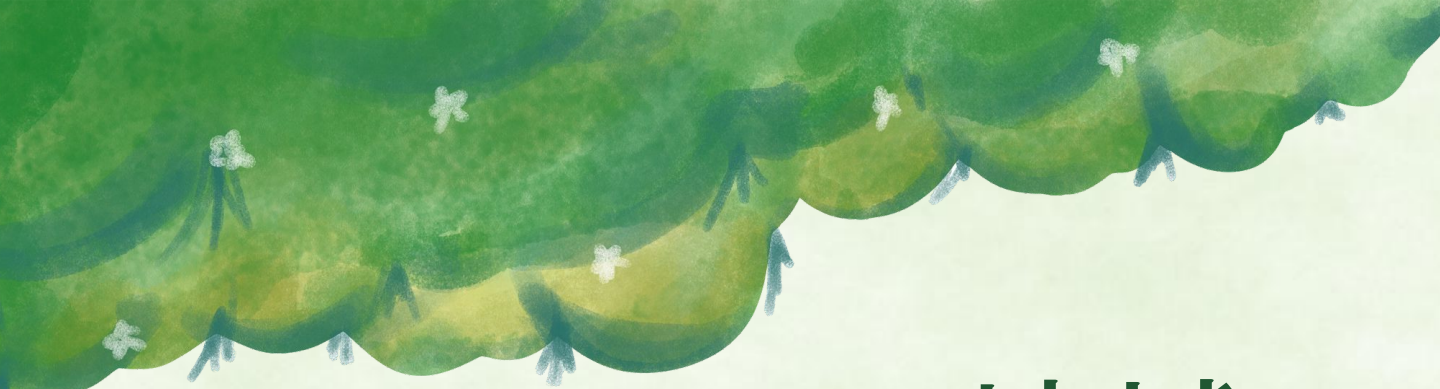
書籍・ジャーナル執筆

大学講義・学会発表

- ・保育園OTの知見、みぎわの取り組みを言語化して発信
- ・みぎわの取り組みに関心を持った方々 (保育関係者・専門職・学生など)の見学を受け入れている。



←みぎわの見学申し込みページはこちらから



地域のOTとして広がる活動

保育園を軸とした“地域の支援者”へ


学童、児童館、放デイコンサル、地域子育て支援

「日常に寄り添うOT」の形はまだまだいっぱいある





OTの専門性はもっと自由でいい



作業を使って人を元気にするのが OT

作業療法士は“作業”を科学的に分析する専門職

病院だけが活躍の場ではない

保育×OT＝“育ち”を支える仕事

「この道もありだな」と思ってもらえたら嬉しい



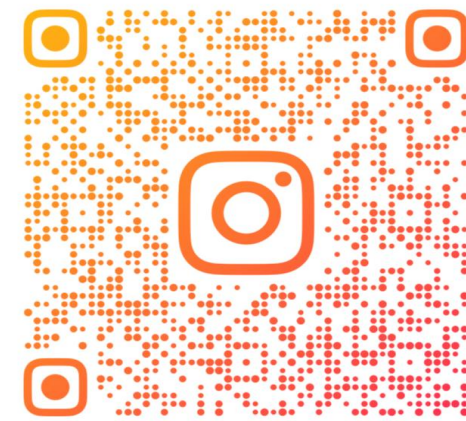
ご清聴ありがとうございました

ご質問等は以下のQRコードからDMにどうぞ



@MIGIWAKAI_1977

みぎわ公式



@HOIKU_OT_MASA

尾崎将充